

栄養管理指針～あなたの回復を支える食事：入院中の栄養管理のポイント～

入院中の栄養管理について

✓ なぜ入院中の栄養管理が大切なのか？

- ・ 体力の回復や治療効果の向上に栄養が不可欠です。
- ・ 病気やけがにより食欲が落ちることや、食事制限が必要になることがあります。
- ・ 適切な栄養をとることで、感染症の予防や早期退院にもつながります。

✓ 入院中の食事についての基本

1. 病院の食事は「治療の一部」

- ・ 医師の指示や病気の種類に応じて、特別な食事(糖尿病食・減塩食・たんぱく制限食など)が提供されます。
- ・ 食事は医師・管理栄養士が計画し、あなたの体調や必要な栄養素に合わせて調整されます。

2. 個別の栄養管理

- ・ 食事が取れない、食欲がない場合は、栄養補助食品や点滴なども選択されます。
- ・ 必要に応じて、**栄養サポートチーム(NST)**という多職種チームが関わります。

3. 食事に関する希望や不安は相談を

- ・ アレルギー、宗教的な制限などがあれば、入院時や食事前に看護師や栄養士に伝えてください。

✓ 入院中の食事で気をつけていただくこと

注意点	説明
食べ物の持ち込み	医師の許可がないものは避けましょう(治療の妨げになる場合があります)
食欲がないとき	無理せず看護師や管理栄養士にご相談ください。栄養補助の方法があります。
水分管理	病気によっては水分制限が必要なこともあるので、自己判断せず医師の指示に従いましょう。
食事時間の厳守	衛生管理上、決められた時間に食べましょう

✓ 栄養について相談したいときは？

- ・ 入院中の管理栄養士に相談できます。
- ・ 退院後は外来栄養指導も行っていますので、ご希望がありましたら主治医にご相談ください。

東京女子医科大学病院栄養サポートチーム

作成:2025 年 6 月